



# わたしらしく生きて、生きる —生活の場における発達を問う—

一般社団法人日本発達心理学会 第36回大会ご案内

2025年3月4日(火)～6日(木)

明星大学

参加・発表・企画申込と大会論文集の  
原稿投稿の〆切はいずれも  
10月18日(金) 17:00です!

## ご挨拶

日本発達心理学会第36回大会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染症法上の位置づけが、2023年5月をもって、インフルエンザ等と同じ「5類」に移行しました。日本発達心理学会大会も、第34回より対面開催に戻りました。今回第36回大会も対面での開催です(海外からの招待講演者の中にはオンラインによる参加があります)。

本大会は、3年ぶりに東京での開催となります。対面での東京開催は、2019年の早稲田大学での大会から数えると実に6年ぶりとなります。明星大学・帝京大学・白梅学園大学という、東京の中でも西の「多摩地区」にある3つの大学が主催校となって、準備を進めています。

大会のメインテーマは「わたしらしく生きて、生きる—生活の場における発達を問う—」です。コロナの災禍は3年余に渡って私たちの生命を脅かし、生活を激変させました。生命の安全を至上命令とする日々の中で、人との関わりや協働の中で日々繰り返され、その中で人の存在が形作られていた「日常生活」がなんと貴重なものであったか、実感されました。また、感染症のみならず、現在、わが国の生活世界にある課題は多岐に渡っています。格差社会の広がり、治まることのない様々の虐待問題、子どもや青年の自殺率の高さ、「多様」な存在であることの生きづらさや居場所のなさ等、「わたし」が自分らしく生き生きと生きる豊かな生活を送ることが難しい社会になるばかりです。

今大会のテーマは、生活から発達を見る、生活の文脈の中で発達を捉える、を目指しています。豊かな生活とは、標準とされる発達や能力の獲得のうえにあるのでしょうか。豊かな生活の保障と発達にはどのような関係があるのでしょうか。ひとり一人異なる自身の地域での生活の中で、どんな人も取りこぼされることなく、生活の主体として、自分らしく生き生きとふるまったり声をあげたりすることができる、それを他者と尊重し合うことができるような社会でありたい。そのためには、どのような理論的な検討や支援がなされるべきでしょうか。このような問いの下に、様々の大会企画を準備しています。

会場の明星大学は東京都日野市に位置します(とはいえ、キャンパスは高尾山を抱く八王子市にもまたがっています)。「東京」といえば、都心部や23区が思い浮かび、多摩地区にはなじみのない方が多いと思います。しかし地理的には、日野市は東京都のほぼ中央に位置し「東京のへそ」とも称される場所です。「新選組のふるさと」としても知られています。会場校の目の前には世界屈指の広さを誇る、都の「多摩動物公園」があります。東京駅や羽田空港からのアクセスは決して良好とは言えませんが、多摩地区最大のまち立川市からはモノレールで約15分、雨に濡れることなく会場に入ることができます。東京という大都市にあるなかで、豊かな自然とゆったりとした風情を感じながら、大会に参加していただけたらと願います。

多くの会員の皆様のご参加を、大会委員一同、心よりお待ちしております。

2024年7月

日本発達心理学会第36回大会委員会委員長

西本 絹子(明星大学 教育学部 教授)

## 目次

1.	送付物一覧	p. 2
2.	会期・会場	p. 2
3.	実施内容	p. 2-7
4.	大会参加の手続き	p. 8-11
5.	大会に関する広報・諸連絡	p. 12-13
6.	第 36 回大会および学会に関する連絡先	p. 13-14

## 1. 送付物一覧 (今回お送りしたもの)

### ■「大会ご案内」(本通信)

※「郵便振替用紙」は同封していません(参加費等の支払いに関しては p.9【4】費用の納入を参照)。

※連絡事項があれば日本発達心理学会第 36 回大会ヘルプデスクにご連絡ください。

→連絡先 E-mail : [jsdp-desk@conf.bunken.co.jp](mailto:jsdp-desk@conf.bunken.co.jp)

※大会論文集の原稿作成要領については大会 Web サイトをご参照ください。

## 2. 会期・会場

■会期：2025 年 3 月 4 日(火)～6 日(木)

■会場：明星大学

会場へのアクセスについては、大会 Web サイトをご覧ください。

## 3. 実施内容

本大会の実施内容には、大会委員会および学会等が企画するものと、関連団体または会員が企画するものがあります。次に、それぞれの概要と発表形態、参加方法などについて説明します。

### 3-1. 大会委員会および学会等が企画するもの

#### 【1】大会特別プログラム(基調講演、特別講演、特別対談)

今大会のテーマ「わたしらしく生きて、生きる—生活の場における発達を問う—」を基とした、特別プログラムを企画しました。演題は仮題です。詳細は大会プログラムでご案内します。

#### 基調講演

◇演 題：学童期の子どもの生活を保障するとは—発達支援の在り方—

講演者：西本 絹子 氏(明星大学 教育学部 教授)

#### 特別講演

◇演 題：「子どもの生活を問い直す：環境としての時間・空間・メディア」

講演者：秋田 喜代美 氏(学習院大学 文学部 教授、東京大学 名誉教授)

◇演 題：「遊びから発達を問う」

講演者：河崎 道夫 氏(高田短期大学 育児文化研究センター 研究員)

## 特別対談

◇議題：「保育実践としての発達論」

登壇者：無藤 隆 氏（白梅学園大学 名誉教授）

古賀 松香 氏（京都教育大学 教育学部 教授）

司会者：佐久間 路子 氏（白梅学園大学 子ども学部 教授）

## 【2】招待講演

以下の2件を予定しています。詳細は大会プログラムでご案内します。もう1件、BPS 発達部門カンファレンスの Margaret Donaldson Award を受賞された先生にも招待講演を行っていただく予定です。

◇テーマ：現代社会において、アタッチメント理論と研究・実践がどのような役割を果たしうるのか、最新の知見から論じていただく予定です。(Attachment across the Lifespan and across Generations)

講演者：Howard Steele 氏（New School for Social Research・Professor/The Society for Emotion and Attachment Studies (SEAS)・Past president)

司会者：近藤 清美 氏（帝京大学 文学部 教授）

◇テーマ：文化的視点からみたコントロール・モチベーション (Cultural perspectives on control motivation)

講演者：Beth Morling 氏（University of Delaware, Professor)

司会者：岡林 秀樹 氏（明星大学 心理学部 教授）

## 【3】大会委員会企画シンポジウム

以下の8件を予定しています。演題は仮題です。詳細は大会プログラムでご案内します。

- ◇ 「発達」のリアリティー—保育現場の「事実」と発達心理学の「構成概念適用」のはざままで
- ◇ トラウマインフォームドな視点から子育てを支える～家庭、地域、社会の視点から～
- ◇ 乳幼児の生活を発達の問い直す—3歳未満児の園生活に焦点をあてて—
- ◇ 「生活」という視点から学校生活の中での子どもの発達を捉え直す
- ◇ インクルージョンの観点から学校教育を再考する
- ◇ 小学生の放課後の生活を捉え直す
- ◇ 思春期・青年期以降の親子関係を再考する
- ◇ 生涯にわたる調節過程の発達：個人、家族、地域、文化の広がりの中で

## 【4】学会企画シンポジウム等

以下の企画を予定しています。詳細は大会プログラムでご案内します。

◇各種委員会企画シンポジウム・ラウンドテーブル

「発達心理学者として社会とどう対話するか？（仮）」（国内研究交流委員会）

「小児期の逆境の体験と保護的体験の発達の影響プロセスの検討」（発達心理学研究編集委員会）

「高齢期の発達科学：高齢期を生涯発達過程に位置付ける（仮）」（出版企画委員会）

「発達研究をすすめる場合のハラスメントの可能性と対処：実践研究における倫理的配慮に焦点をあてて」（発達心理学研究編集委員会・ハラスメント防止委員会）

他 数件

◇関連学会・団体との共催シンポジウム 他

※理事会および各種委員会の企画の場合は、企画費は徴収いたしません。ただし、日本発達心理学会の分科会や地区懇話会は関連団体となるため、企画費が必要です。理事会および各種委員会による企画につきましては、大会委員会（meeting2025@jsdp.jp）に企画代表者が直接お申し込みください。

### 3-2. 関連団体または会員が企画するもの

■以下の表に示す4つの種類があります。詳細は表以降の文章をご覧ください。

	【1】 学会関連団体による 企画シンポジウム	【2】 自主シンポジウム	【3】 ラウンドテーブル	【4】 ポスター形式の 研究発表
1) 企画者	関連団体	会員	会員	会員
2) 発表形態	企画者が出演者を決め、研究発表や討論	企画者が出演者を決め、研究発表や討論	企画者と参加者が自由に討論	ポスターを掲示し、質問者と個別に討論
3) 発表時間	120分	120分	120分	掲示 120分 在席 60分
4) 申込方法	Web サイトから規定の要領でお申し込みください			
5) 論文集割当頁	2 ページ	2 ページ	1 ページ	1 ページ
6) 企画費	5,000 円	20,000 円	20,000 円	大会参加費に含む

#### 【1】日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム

- 1) 企画者 日本発達心理学会における分科会や地区懇話会、あるいは臨床発達心理士認定運営機構などの関連団体による企画を想定しています。ここには、理事会および各種委員会による企画は含まれません。
- 2) 発表形態 下記の「【2】自主シンポジウム」と同様
- 3) 発表時間 120分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Web サイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集 2 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。
- 6) 企画費 5,000 円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数 日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウムを企画申込できる回数は団体毎に 1 回とさせていただきます。  
また、出演回数は自主シンポジウム、ラウンドテーブルと合わせて大会中 1 人 3 回までとさせていただきます。  
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には、出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。

- 8) 参加費納入 **会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の事前納入が必須です。**  
 会員・非会員にかかわらず、出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。  
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。  
 ※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、p.11 一覧表の注3)に記載のように、大会参加費は大会期間中有効ですので、1回のみ一人分支払うこととなります。
- 9) 倫理事項の確認・利益相反の申告 p.9の「【5】 注意事項」をご覧ください、倫理事項の確認・利益相反の申告（一定の限度を超えた場合に限り）をお願いします。

## 【2】 自主シンポジウム

- 1) 企画者 会員
- 2) 発表形態 企画者が出演者（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど）を決め、シンポジウム形式で研究発表や討論をするものです。  
 会場は、100名程度収容可能な部屋です。  
 原則として、企画者・出演者は会場にて発表を行います。ただし、様々な理由から来場が困難な場合、オンラインによる研究発表や討論を行うことが出来ます。  
 ※会場系のスタッフが設備の使用に関するお手伝いはしますが、プロジェクター・Zoomなどの操作は出演者でお願いいたします。  
 ※コピー機の使用およびスタッフによるコピー代行はできません。  
 ※資料、飲み水等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。
- 3) 発表時間 120分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Webサイトから、規定の要領で企画申込をしてください。  
 ※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集2ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。
- 6) 企画費 20,000円。企画代表者が参加費と共にお支払ください。
- 7) 企画・出演回数 自主シンポジウムを企画申込できる回数は1回とさせていただきます。  
また、出演回数は日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム、ラウンドテーブルと合わせて大会中1人3回までとさせていただきます。  
 ※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 **会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の納入が必須です。**  
 会員・非会員にかかわらず企画に出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。  
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。

※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、 p.11 一覧表の注 3) に記載のように、大会参加費は大会期間中有効ですので、1 回のみ一人分支払うこととなります。

- 9) 倫理事項の確認・利益相反の申告 p.9 の「【5】 注意事項」をご覧ください、倫理事項の確認・利益相反の申告（一定の限度を超えた場合に限り）をお願いします。

### 【3】 ラウンドテーブル

- 1) 企画者 会員
- 2) 発表形態 同一問題意識を持った者同士の自由な議論が主体の企画です。  
企画者は参加者に話題を投げかけ、討論を促します。必要に応じて、話題提供者やファシリテーターを設定してもかまいません。  
会場は、50 名程度収容可能な部屋です。  
原則として、企画者・話題提供者・ファシリテーターは会場にて討論を行います。ただし、様々な理由から来場が困難な場合、オンラインによる討論を行うことが出来ます。  
※会場系のスタッフはつきません。企画者・司会等出演者ご自身で管理・運営の進行をお願いいたします。  
※コピー機の使用およびスタッフによるコピー代行はできません。  
※資料、飲み水等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。
- 3) 発表時間 120 分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Web サイトから、規定の要領で企画申込をしてください。  
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集 1 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。
- 6) 企画費 20,000 円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数 ラウンドテーブルを企画申込できる回数は 1 回とさせていただきます。  
出演回数は日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム、自主シンポジウムと合わせて大会中 1 人 3 回までとさせていただきます。  
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には、出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の納入が必須です。  
会員・非会員にかかわらず、企画に出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。  
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。  
※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、大会参加費は p.11 一覧表の注 3) に記載のように大会期間中有効ですので 1 回のみ一人分支払うこととなります。

- 9) 倫理事項の確認・利益相反の申告 p.9の「【5】 注意事項」をご覧ください、倫理事項の確認・利益相反の申告（一定の限度を超えた場合に限り）をお願いします。

#### 【4】ポスター形式の研究発表

- 1) 研究発表者 責任発表者および筆頭者になれるのは会員のみです。連名発表者は非会員も可とします。
- 2) 発表形態 個人または複数の人がポスター形式で研究を発表するものです。  
ポスターパネル（横 90 cm × 縦 210 cm の予定）にポスターをセッション開始時刻までに掲示し、それをもとに発表者と質問者が個別に討論します。  
連名発表者も大会に参加し発表することが期待されていますが、責任在席時間はありません。連名発表者は申込者と共同で研究した者に限ります。
- 3) 発表時間 ポスターの掲示時間は 120 分、責任在席時間は決められた 60 分です。  
※「大会論文集への発表論文の掲載」「掲示時間内のポスター掲示」「掲示場所での責任在席時間内の個別討論」の全てを行うことによって、公式発表と認められます。以上 3 つの要件について変更、不備・不足があった場合には、大会委員会は理事会と協議しその取り扱いを決定し、学会誌広報欄で報告します。
- 4) 申込方法 責任発表者が、Web サイトから、規定の要領で発表申込をしてください。  
※倫理的な問題等により発表が認められない場合があります。
- 5) 論文集割当頁 「大会論文集」1 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。  
※責任発表者が参加申込費を期日までに納入しない場合には、論文集への掲載はできませんのでご注意ください。
- 6) 研究発表費 大会参加費に含まれます。
- 7) 発表回数 責任発表者となれるのは、大会期間中 1 回に限ります。ただし、連名発表者となる場合には回数の制限はありません。
- 8) 連番発表 複数名による研究グループが連番発表を行う場合も、責任発表者が各自 Web で入力を行い、規定の要領で発表申し込みをしてください。Web での申し込みの際、「連番発表の希望」チェックボックスにチェックを入れ、すべての連番発表筆頭者の会員番号と氏名を入力するようにしてください。また、論文集のタイトルも連番発表であることがわかるようにご留意ください。
- 9) 倫理事項の確認・利益相反の申告 p.9の「【5】 注意事項」をご覧ください、倫理事項の確認・利益相反の申告（一定の限度を超えた場合に限り）をお願いします。

## 4. 大会参加の手続き

### ■はじめに

◇本大会では、大会参加の申込、発表・企画の申込、大会論文集原稿の投稿の〆切を同じ日に設定しました。手続きの〆切一覧表を、p.10に掲載しています。

◇すべての手続きは大会 Web サイト (<https://www.jsdp.jp/jsdp2025/>) で行います。

※大会参加に関する問題やご質問がある場合は、日本発達心理学会第 36 回大会ヘルプデスクにご相談ください。→連絡先 E-mail : [jsdp-desk@conf.bunken.co.jp](mailto:jsdp-desk@conf.bunken.co.jp)

※なお、いずれの申込も、大会 Web サイトでの手続き後、「費用の納入」をもって完了します。

### 【1】大会参加の申込

◇大会に参加し発表や企画を行う会員は、まず「大会参加の申込」を行ってください。

◇〆切は、**2024年10月18日(金)17時**です。

※あらかじめ 2024 年度の年会費が納入されていることが必要です。年会費についてのお問い合わせは、会員管理事務局 連絡先 E-mail : [jsdp-post@as.bunken.co.jp](mailto:jsdp-post@as.bunken.co.jp) までご連絡ください。

※参加の申込は、会員情報管理システムを用いて行われます。会員情報に変更や修正事項がある場合には、参加登録をする際、事前にマイページにて各種情報の確認・訂正をお願いします。大会に関する連絡をマイページのものとは別の住所に希望する場合には、会員情報は変更せず、大会参加申込の段階で連絡先を変更してください。この場合、会員情報は変更されません。

※発表や企画がなく大会参加のみの場合には、大会当日までクレジットカードにて大会参加の申し込みができます。ただし、10月18日(金)17時以降の参加申込みは「当日料金」の扱いになります。

※非会員についても、事前の大会参加申込が可能です。

※当日参加の大会参加費を現金で納入することはできません。クレジットカードをお持ちでない会員の方は、10月18日(金)までに郵便振替による事前申込を行ってください。なお振込先は、参加申込の完了時に配信されるメールに記載いたします。

### 【2】発表・企画の申込

◇「大会参加の申込」終了後、「発表・企画の申込」が可能です。

◇〆切は、**2024年10月18日(金)17時**です。

◇会員が行う発表・企画の形式は以下の4つです。

- ・関連団体による企画シンポジウム
- ・自主シンポジウムの企画
- ・ラウンドテーブルの企画
- ・ポスター発表

### 【3】大会論文集原稿の投稿

◇発表・企画の申込をした方は、大会論文集原稿を投稿してください。

◇〆切は、**2024年10月18日(金)17時**です。

※〆切までに投稿がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

#### 【4】費用の納入

◇費用は p.11 の一覧表のとおりです。納入は、クレジットカードでお願いします。大会 Web サイトの指示に従って納入してください。

クレジットカードをお持ちでない場合に限り「郵便振替」のご利用は可能ですが、2024 年 10 月 18 日（金）までしか利用はできません。ご注意ください。なお振込先は、参加申込の完了時に配信されるメールに記載いたします。

◇〆切は、**2024 年 10 月 31 日（木）**です。

※〆切までに参加費・企画費の納入がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

※事前参加申込をされた場合でも、納入が 10 月 31 日（木）を過ぎますと、参加費は「当日料金」となりますので、必ず 10 月 31 日（木）までに納入してください。

#### 【5】注意事項：必ずお読みください！

◇**関連団体企画シンポジウム／自主シンポジウム・ラウンドテーブル**：企画者の費用納入とともに、企画出演者である会員/非会員の全員が大会参加費を納入している必要があります。非会員の出演者についても、大会参加費を事前にお支払いください。企画費・大会参加費を納入していない場合、該当するプログラムを公式に開催することができません（企画として認められません）ので、ご注意下さい。

◇**費用の返却**：納入された費用は、事情の如何にかかわらず、原則として返却できません。あらかじめご了承ください。

◇**学部生の発表**：2025 年 3 月卒業予定等の学部学生も発表者になることができます。ただし、発表申込前までに 2024 年度会費の納入を含めて学生会員の入会手続きを完了していることが必要です。

◇**年会費の納入**：いずれの発表・企画についても、2025 年度会費を発表当日までに納入していることが必要です。2025 年 3 月卒業予定等の学部学生が発表者になる場合も同様です（定款では、翌年の会費を 12 月末日までに支払うことになっています）。

※前大会より発表・企画（各種シンポジウム・ラウンドテーブル・ポスター形式の研究発表）を申し込む際には、以下の 2 つの事項が適用されることになりました。該当者が行う具体的手続きの詳細については、後日大会 Web サイトにてお知らせします。

◇**倫理事項の確認**：発表者・企画者には、いくつかの項目からなる倫理チェックリスト（「発表内容に個人が特定される情報が含まれていない」、「共同発表の場合、共同研究者を適切な方法で表記している」など）にご回答いただきます。また、抄録でも、倫理事項に留意して研究が実施されていることに言及するようにしてください。なお、本確認では研究の倫理審査委員会の承認を求めることはありません。

◇**利益相反の申告**：発表者・企画者には、本会が定めた「利益相反（COI）に関する指針」に基づき（一定の限度を超えた利益相反がある場合に限り）、研究に関わる利益相反の申告を行うことが求められます。利益相反（Conflict of Interest：COI）とは、外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態をいいます。「経済的利益関係」とは、研究者が、自分が所属し研究する機関以外の機関との間で給与等を受け取る等の関係を持つことです。

## 【6】大会論文集 CD-ROM の送付の廃止、事前予約購入の受付

◇本年度は、大会に参加される方全員に大会論文集 CD-ROM を送付することはいたしません。もし、送付を希望される方がいらっしゃいましたら、事前予約購入の申し込みをしていただくことになります。代金は会員 4,000 円(送料を含む)、機関購読 5,000 円(送料含む)です。10月31日(木)までに、下記の事項を第36回大会総合窓口まで別途ご連絡ください。

→ 連絡先 E-mail: [meeting2025@jsdp.jp](mailto:meeting2025@jsdp.jp)

- ・機関名 (領収書の宛先名義)
- ・担当者
- ・連絡先
- ・部数
- ・その他 (見積書・納品書・請求書が必要な場合は、その旨を明記してください)

◇大会論文集の Web 版は、大会前並びに大会中、参加者限定の ID と PW を利用して、大会 Web サイトにおいて閲覧・ダウンロードすることができます。また、大会終了後には、発達心理学会 HP でも会員の方を対象に閲覧・ダウンロードすることが可能となります。

## 【7】個人情報の取り扱いについて

本大会の申込や問い合わせにより得られた個人情報は、個人情報保護法に基づき、諸連絡、支払いの確認といった本大会運営上必要な業務にのみ使用し、それ以外には使用いたしません。

### ■各手続きの〆切

		2024年9月	
事前参加申込 (郵便振替)	開始		10月18日 (金) 17時〆切
事前参加申込 (クレジット決済)	開始		10月18日 (金) 17時〆切
当日参加申込 (クレジット決済のみ)		10月18日 (金) 17時開始 	大会当日
すべての発表・企画申込 (関連団体企画・自主シンポジウム・ラウンドテーブル・研究発表)	開始		10月18日 (金) 17時〆切
すべての発表・企画の 論文集原稿投稿	開始		10月18日 (金) 17時〆切
事前参加費・企画費納入	開始		10月31日 (木) 17時〆切
大会論文集追加購入費等 納入	開始		10月31日 (木) 17時〆切
大会論文集CD-ROM 予約購入の受付	開始		10月31日 (木) 17時〆切

■大会参加の諸費用一覧（税込、ただし会員参加費・企画費は不課税）

費用	対象	事前	当日 <sup>1)</sup>	備考	
大会参加費	一般会員	大会参加のみ	13,000 円	14,000 円	<sup>3)</sup>
		大会参加・発表 非会員連名者なし	13,000 円	—	
		大会参加・発表 非会員連名者あり	13,000 円	—	非会員連名費は不要。非会員連名者の有無で参加費は変わりません。
	学生会員 <sup>4)</sup>	大会参加のみ	10,000 円	11,000 円	<sup>3)</sup>
		大会参加・発表 非会員連名者なし	10,000 円	—	
		大会参加・発表 非会員連名者あり	10,000 円	—	非会員連名費は不要。非会員連名者の有無で参加費は変わりません。
	非会員	一般・大学院生	15,000 円	16,000 円	<sup>2) 3)</sup>
		学部生	1,000 円	2,000 円	<sup>2) 3)</sup>
関連団体シンポジウム企画費	企画申込者	5,000 円	—	企画申込者が支払います。	
自主シンポジウム/ラウンドテーブル企画費	企画申込者	20,000 円	—	企画申込者が支払います。	
大会プログラム	<u>追加購入</u> 希望者	1,000 円	1,000 円	会員には大会前に 1 冊送付されます。追加購入される場合の金額です。	
CD-ROM 事前受付	購入希望者	4,000 円		送料込みの金額です。機関購読の場合は 5,000 円です。	
懇親会費	一般会員	4,000 円	5,000 円		
	学生会員	1,000 円	2,000 円		
	非会員	4,000 円	5,000 円		

※※注意※※

- 1) 当日受付：発表・企画の申込をしておらず、事前の参加申込をしていない方でも、会期最終日までに大会参加費を支払うことで参加いただけます。（※当日は現金のお取り扱いはいたしません。必ずご来場前に大会 Web サイトからの登録をお済ませください。）
- 2) 非会員に関わる費用：非会員が「大会に参加する場合」は、連名発表やシンポジウム/ラウンドテーブルでの出演の有無にかかわらず、大会参加費をお支払いください。
- 3) 大会参加費は、支払われた日だけではなく、大会期間中(3日間)の参加費となります。
- 4) 本会における学生会員は学部学生・大学院生・研究生です。

## 5. 大会に関する広報・諸連絡

### 【1】 これからの諸連絡

◇第2号通信は、送付しません。

◇今後の諸連絡は、大会 Web サイト (<https://www.jsdp.jp/jsdp2025/>)にてお知らせいたします。

◇本大会用の **X (旧 Twitter) アカウント**にて、様々な情報や告知を行う予定です。ぜひフォローの方をよろしくお願いいたします。ユーザー名は「@JSDP36th\_2025」とご検索ください。

◇諸費用の納入は、原則として大会 Web サイトから**クレジット決済**にてお願いします。

例外としてやむを得ない場合に限り「郵便振替」のご利用は可能ですが、2024年10月18日(金)までしか利用はできません。ご注意ください。なお振込先は、参加申込の完了時に配信されるメールに記載いたします。

### 【2】 日本発達心理学会・会費の納入

◇第36回大会で研究発表をする場合には、2024年度の会費を参加申込の前までに、2025年度会費を発表当日までに納入してください。両方を納入していない場合には、大会での発表の権利を失うことがあります。

◇会費については、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。

→連絡先 E-mail : [jsdp-post@as.bunken.co.jp](mailto:jsdp-post@as.bunken.co.jp)

◇学生会員に限り、初年度年会費を半額にしています。新入学生会員の皆様の年次大会での発表を歓迎しています。詳細は以下をご覧ください。

[https://jsdp.jp/contents/membership\\_fee\\_first2022.pdf](https://jsdp.jp/contents/membership_fee_first2022.pdf)

### 【3】 日本発達心理学会への入会

◇日本発達心理学会に入会していない方が会員(一般会員/学生会員)として研究発表を行うためには、参加申込の前までに2024年度会費の納入を含めて日本発達心理学会への入会手続きを完了していることが必要です。入会申込後、入会承認手続きが行われます。

◇入会申込 URL は、 <https://www.jsdp.jp/contents/base/nyukai.html> です。

◇入会手続きについては、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。

→連絡先 E-mail : [jsdp-post@as.bunken.co.jp](mailto:jsdp-post@as.bunken.co.jp)

### 【4】 宿泊について

◇本大会では、宿泊施設のご案内はしておりません。会場周辺、立川駅・八王子駅・多摩センター駅周辺に宿泊施設が多数ございますので、各自でお手配ください。

### 【5】 その他

(1) 会務報告会、学会賞・国際奨励賞 授与式

◇会務報告会および各賞の授与式を行います。

◇大会2日目：3月5日(水)を予定しています。

◇詳細は大会 Web サイトおよびプログラムにてご案内いたします。

## (2) 懇親会

◇日時：大会2日目3月5日（水）18時30分～

◇会場：明星大学内（感染症予防対策を講じた上で実施いたします）

◇会費：事前申込4,000円(学生会員1,000円)、当日参加5,000円(学生会員2,000円)

会費の納入は、基本的に大会Webサイトから**クレジット決済**にてお願いします。

例外としてやむを得ない場合に限り「郵便振替」のご利用は可能ですが、2024年10月18日（金）までしか利用はできません。ご注意ください。なお振込先は、参加申込の完了時に配信されるメールに記載いたします。

## (3) 託児室

◇小さいお子様をお連れの参加者を支援するために、会場内に託児室を開設します。

◇託児室の利用は**有料**です。

◇料金や申し込み方法など、詳細は、後日大会Webサイトおよびプログラムにてお知らせします。

◇本大会では、お子様が保護者（大会参加者）と一緒に会場に入ることもできます。

## (4) 情報保障

情報保障をご希望の方は10月18日（金）までにE-mailで大会総合窓口にお問い合わせください。

## (5) 書籍および機器の展示

◇大会期間中に、会場内において書籍や機器の展示を行います。

## 6. 第36回大会および学会に関する連絡先

### 【1】大会総合窓口

◇会場や大会全般に関する質問は、E-mailで大会総合窓口にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会第36回大会総合窓口

E-mail：meeting2025@jsdp.jp

第36回大会Webサイト：<https://www.jsdp.jp/jsdp2025/>

### 【2】日本発達心理学会大会ヘルプデスク

◇大会参加・発表申込、参加費納入に関する質問は、E-mailで下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター（株）国際文献社内

E-mail：jsdp-desk@conf.bunken.co.jp

FAX：03-5227-8632

### **【3】日本発達心理学会会員管理事務局**

◇日本発達心理学会への入会、年会費納入状況、会員情報に関する質問は、E-mail で下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会会員管理事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内

E-mail : jsdp-post@as.bunken.co.jp

受付時間：平日 9 時～12 時、13 時～17 時

### **【4】日本発達心理学会事務局**

一般社団法人日本発達心理学会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

E-mail : office@jsdp.jp

FAX : 03-5227-8631

学会 Web サイト : <https://www.jsdp.jp/>